



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 ウィン・パートナーズ株式会社

コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋沢 英海

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長

(氏名) 村田 裕可

TEL 03-6895-1234

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,590	6.1	1,093	4.0	1,101	4.0	706	△30.8
26年3月期第2四半期	22,230	—	1,051	—	1,059	—	1,021	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 724百万円 (△30.1%) 26年3月期第2四半期 1,036百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	49.20	—
26年3月期第2四半期	71.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第2四半期	24,721	11,498	46.5	801.05
26年3月期	26,934	11,233	41.7	782.58

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 11,498百万円 26年3月期 11,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	51,000	2.4	2,573	3.8	2,578	3.2	1,659	△9.9	115.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	15,251,655 株	26年3月期	15,251,655 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	897,433 株	26年3月期	897,433 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	14,354,222 株	26年3月期2Q	14,354,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表した「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した数値から変更しておりません。
2. 当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動や物価上昇に伴う実質所得低下の影響等から先行きが不透明な状況が続いております。

医療業界においては、政府の「社会保障と税の一体改革」のもとに行われた診療報酬の見直し等により厳しい状況が続きました。診療報酬は2年に1回の頻度で見直しが行われており、直近では平成26年4月に実施されました。今回の見直しは医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等を主な目的とし、急性期病床を始めとする各種病床の担う機能の明確化、適正な配置等を検討する旨が示されております。こうした状況を背景に、当社グループの顧客である医療機関においては今後の経営方針の検討や適切な医療の提供等、来るべく新しい医療政策に対応するために様々な検討が行われております。さらに、診療報酬の見直しに伴う特定保険医療材料の償還価格の改定の影響を受け、当社グループの主力商品であるステントやPTCAバルーンカテーテル、ペースメーカ等の販売価格も下落しました。

当社グループは、こうした外部環境の変化のなかにもありながらも、取扱商品の拡充等を図り、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。また、当第2四半期連結累計期間は、グループ内で重複する福島県の営業所を統合し、経営の合理化やエリアマーケティングを強化しました。さらに平成26年9月にはテスコ株式会社(宮城県仙台市)の本社兼倉庫ビルを移転増強し、東北地域におけるマーケットシェアの拡大を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23,590,530千円(前年同四半期比6.1%増)、経常利益は1,101,592千円(同4.0%増)となりました。四半期純利益は706,207千円(同30.8%減)となりましたが、これは、前第2四半期連結累計期間に経営統合に伴う負ののれん発生益196,950千円及び段階取得に係る差益180,174千円を計上したことによるものです。

分類別の業績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より「その他」に分類していた商品について、商品特性等によって各分類への組み替えをしております。このため、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期実績値を変更後の分類に組み替えて行っております。

## ・虚血性心疾患関連

薬剤溶出型ステント(DES)やPTCAバルーンカテーテル等の拡販に注力するとともに、一部のPTCAバルーンカテーテルの一括買取により利益率の改善を図りました。販売数量は伸長したものの、償還価格改定に伴う販売単価の下落等により虚血性心疾患関連の売上高は10,003,742千円(前年同四半期比0.3%減)となりました。

## ・心臓律動管理関連

成長分野と位置付け、人員の増強を図り営業活動を強化しました。特にEPアブレーションに注力し、啓蒙活動したことにより販売数量が伸長しました。また、MRI型ペースメーカの販売強化も継続して実施した結果、心臓律動管理関連の売上高は4,634,240千円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

## ・心臓血管外科関連

ステントグラフト内挿術や、経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)等の低侵襲手術分野を成長市場と位置付け、人員を投入し、新規顧客の獲得を図りました。この結果、心臓血管外科関連の売上高は3,305,285千円(前年同四半期比15.5%増)となりました。

## ・末梢血管疾患関連及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術の症例数が増加したこと等により販売数量が伸長しました。しかしながら、償還価格改定に伴う販売単価の下落により末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は2,070,241千円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

## ・大型医療機器関連

医療施設の新築・増改築の情報を早期に収集し、地域の市場分析を行い、受入患者数の増加に寄与し得る設備投資の提案を行ったことにより売上高が増加しました。この結果、大型医療機器関連の売上高は1,586,081千円(前年同四半期比23.6%増)となりました。

・その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、糖尿病関連商品であるインスリンポンプのレンタルの普及が進んだほか、消化器系の商品の販売が増加したこと等から、その他の売上高は1,990,938千円(前年同四半期比9.2%増)となりました。

(注)主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

分類	取扱商品
虚血性心疾患関連	当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用されるカテーテル等の医療機器であります。これらの医療機器を使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲治療」と呼ばれております。 <薬剤溶出型ステント(DES)、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテル等>
心臓律動管理関連	不整脈の治療に使用される医療機器であります。 <ペースメーカ、植込型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(CRTD)、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等>
心臓血管外科関連	心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 <ステントグラフト、生体弁、人工血管、人工心肺等>
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 <PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル等>
大型医療機器関連	放射線科や手術室等で使用される医療機器であります。 <X線血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、麻酔器等>
その他	上記以外の医療機器等であります。 <インスリンポンプ、血圧トランスデューサーセット、血圧モニター用チューブ等>

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べ2,213,311千円減少し、24,721,091千円となりました。これは、現金及び預金が2,235,115千円、受取手形及び売掛金が1,415,149千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ2,478,453千円減少し、13,222,570千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,257,974千円、未払法人税等が129,549千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ265,141千円増加し、11,498,520千円となりました。これは四半期純利益により706,207千円増加した一方、前期の配当金の支払により459,335千円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、6,328,709千円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1,105,498千円、売上債権の減少が1,415,149千円あった一方で、たな卸資産の増加が819,458千円、仕入債務の減少が2,257,974千円あったこと及び法人税等の支払が528,433千円あったこと等により1,288,815千円の支出(前年同四半期は738,899千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が436,923千円あったこと等により486,964千円の支出(前年同四半期は335,684千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を支払ったことにより459,335千円の支出(前年同四半期は355,690千円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、顧客のニーズに合わせた提案や支援を行うことで新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力したほか、主力商品の一括買取による利益率の改善を図ったこと等により概ね計画どおりに推移しました。

従いまして、通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,563,824	6,328,709
受取手形及び売掛金	13,798,423	12,383,274
商品	1,124,223	1,943,962
その他	437,147	774,564
貸倒引当金	△640	△670
流動資産合計	23,922,978	21,429,840
固定資産		
有形固定資産	2,062,112	2,374,807
無形固定資産	308,231	285,657
投資その他の資産	641,080	630,785
固定資産合計	3,011,424	3,291,250
資産合計	26,934,403	24,721,091
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,276,288	12,018,313
未払法人税等	500,743	371,194
賞与引当金	209,411	199,838
その他	340,498	228,592
流動負債合計	15,326,941	12,817,938
固定負債		
退職給付に係る負債	373,032	404,106
その他	1,050	525
固定負債合計	374,082	404,631
負債合計	15,701,024	13,222,570
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	550,000	550,000
資本剰余金	2,272,369	2,272,369
利益剰余金	8,867,869	9,114,741
自己株式	△537,809	△537,809
株主資本合計	11,152,429	11,399,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,949	99,218
その他の包括利益累計額合計	80,949	99,218
純資産合計	11,233,378	11,498,520
負債純資産合計	26,934,403	24,721,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	22,230,721	23,590,530
売上原価	19,226,835	20,453,699
売上総利益	3,003,886	3,136,831
販売費及び一般管理費	1,952,413	2,043,545
営業利益	1,051,473	1,093,285
営業外収益		
受取利息	297	353
受取配当金	4,217	4,631
不動産賃貸料	1,825	977
その他	2,073	2,643
営業外収益合計	8,414	8,606
営業外費用		
支払利息	56	29
その他	304	269
営業外費用合計	361	299
経常利益	1,059,526	1,101,592
特別利益		
固定資産売却益	-	4,049
負ののれん発生益	196,950	-
段階取得に係る差益	180,174	-
特別利益合計	377,125	4,049
特別損失		
投資有価証券評価損	537	-
その他	232	143
特別損失合計	769	143
税金等調整前四半期純利益	1,435,881	1,105,498
法人税等	414,724	399,290
少数株主損益調整前四半期純利益	1,021,157	706,207
四半期純利益	1,021,157	706,207

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,021,157	706,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,660	18,269
その他の包括利益合計	15,660	18,269
四半期包括利益	1,036,817	724,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,036,817	724,476

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,435,881	1,105,498
減価償却費	108,381	123,199
負ののれん発生益	△196,950	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△180,174	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,154,362	1,415,149
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119,946	△819,458
仕入債務の増減額(△は減少)	△898,263	△2,257,974
その他	30,647	△331,752
小計	1,333,938	△765,338
法人税等の支払額	△599,497	△528,433
その他	4,458	4,955
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>738,899</b>	<b>△1,288,815</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△295,293	△436,923
その他	△40,390	△50,041
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△335,684</b>	<b>△486,964</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△355,690	△459,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355,690	△459,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,524	△2,235,115
現金及び現金同等物の期首残高	4,611,959	8,563,824
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	2,269,387	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,928,872	6,328,709

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。